
一般社団法人 全国専門学校情報教育協会

第5回定時総会 資料

平成27年6月11日 於：東京／TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

◆ 審議事項 ◆

<報告事項>平成26年度事業報告

第1号議案 平成26年度収支決算の承認を求める件

第2号議案 任期満了による役員改選の件

◆ 報告事項 ◆

- ・平成27年度事業計画
- ・平成27年度収支予算
- ・経営改革特別委員会事業提案

目 次

◆ 審議事項 ◆	2
<報告事項>平成26年度事業報告	2
1. 総会	2
2. 理事会（常任理事会含む）	2
3. 委員会	2
(1) 総務・財務委員会	2
(2) 調査委員会	2
(3) 研修委員会	3
(4) イベント委員会	4
(5) 企画委員会	11
4. 文部科学省委託事業	11
5. その他の事業	11
(1) ホームページを利用した各種情報の提供	11
(2) インターネットメールによる各種情報の提供	11
第1号議案 平成26年度収支決算の承認を求める件	12
第2号議案 任期満了による役員選任の件	18
◆ 報告事項 ◆	19
<平成27年度 事業計画>	19
1. 総会	19
2. 理事会	19
3. 常任理事会	19
4. 委員会	19
(1) 総務・財務委員会	19
(2) 調査研究事業（調査委員会）	19
(3) 研修委員会	20
(4) イベント委員会	20
(5) 企画委員会	20
5. 文部科学省委託事業	20
<平成27年度 収支予算>	21

◆ 審議事項 ◆

<報告事項>平成26年度事業報告

1. 総会

平成26年度第4回定時総会は6月20日に中野サンプラザにて開催され、以下の事項について審議し、承認された。

第1号議案 平成25年度補正予算案の承認を求める件

第2号議案 平成25年度収支決算の承認を求める件

2. 理事会（常任理事会含む）

平成26年度は、理事会4回、常任理事会3回を開催し、本会の運営方針の決定や予算の執行管理について審議した。

3. 委員会

（1）総務・財務委員会

平成26年度は委員会を3回開催し、下記の規定等について検討した。

①慶弔規程・旅費規程（27年度引き続き審議を継続）

②平成27年度予算編成並びに決算、財務管理等について検討を行った。

（2）調査委員会

実勢調査の取りまとめ等について3回の委員会を実施した。

【検討事項等】

①実勢調査のとりまとめ

本会会員校でIT分野を設置している学校の学生数は13,755人。全国で25,236人の在籍者のうち54.51%等

②情報公開、第3者評価について検討

③職業実践専門課程に関する調査について検討

④情報系専門学校教員の必要能力調査について検討

(3) 研修委員会

研修委員会は、会員校の教育内容の充実、技術研修等の各種研修の立案と運営について3回の委員会を開催し、下記研修会を開催した。

※別添資料 研修1参照

①研修会開催

- ・『授業のつくり方（初級編）』研修会 実施
日程：平成26年5月22、23日、 会場：日本電子専門学校
講師：山口 典子（株式会社ウチダ人材開発センタ）
参加者 12名
- ・『Android 技術研修会』 実施
日程：平成26年8月5、6日、 会場：日本電子専門学校
講師：矢野 敏彦
参加者 18名
- ・『ファシリテーション・スキル養成』（中級）研修会 実施
日程：平成26年8月7、8日、 会場：日本電子専門学校
講師：宮口 直人
参加者 9名
- ・『広報・マーケティング講座』 実施
日程：平成26年8月19日、 会場：日本電子専門学校
講師：宮口 直人
参加者 19名
- ・『教授法とインストラクショナルデザイン（初級）』研修会 実施
日程：平成26年8月21、22日、 会場：日本電子専門学校
講師：日暮 薫（株式会社ウチダ人材開発センタ）
参加者 9名

②専修学校フォーラム

本会会員および専修学校関係者を対象として、情報教育にかかわる各種情報の提供、教育事例や研究成果の公開、文部科学省のプロジェクトの発表の場として専修学校フォーラムを開催した。

※別添資料 専修学校フォーラム2015パンフ参照

日 程：平成27年2月9、10日

会 場：中野サンプラザ

参加者：197名

後 援：経済産業省

協 力：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団、全国専修学校各種学校総連合会、
全国学校法人立専門学校協会

(4) イベント委員会

※別添資料 イベント1参照

①【第23回全国専門学校ロボット競技会】

<日程>平成26年12月22日(月)、23日(火)

<会場>テレコムセンタービル東棟1階

<出場校>11校57チーム

■参加校・参加部門・参加チーム数一覧(11校 57チーム)

NO	学校名	ハード	ソフト	有線	2足	計
1	盛岡情報ビジネス専門学校		1			1
2	専門学校越生自動車大学校		3			3
3	東京電子専門学校		2		2	4
4	日本電子専門学校	2			2	4
5	日本工学院八王子専門学校	2	4	1	4	11
6	横浜システム工学院専門学校		4		2	6
7	中日本航空専門学校	1	2	2		5
8	浜松情報専門学校	3	2	3		8
9	名古屋工学院専門学校	2	2	2	3	9
10	大阪工業技術専門学校	1		3		4
11	鹿児島キャリアデザイン専門学校	2				2
		13	20	11	13	57

■協力 1社

専門学校新聞社

■協賛企業(五十音順) 5社

株式会社 昭栄広報

株式会社 ブレインズ・ネットワーク

株式会社 タレントデータバンク

株式会社 JSコーポレーション

株式会社 ボーンデジタル

■協賛専門学校(五十音順) 8校

学校法人吉田学園

大阪工業技術専門学校

東京電子専門学校

名古屋工学院専門学校

日本工学院八王子専門学校

日本電子専門学校

浜松情報専門学校

横浜システム工学院専門学校

■第23回全国専門学校ロボット競技会 結果一覧

自律型ロボット対戦競技 ソフトウェア部門			
優勝	日本工学院八王子専門学校	独身貴族	どくしんきぞく
準優勝	横浜システム工学院専門学校	YSE_SEI14	ワイエスイー_セイ_フォーティーン
第3位	横浜システム工学院専門学校	YSE_DUE14	ワイエスイー_ドゥエ_フォーティーン
第3位	名古屋工学院専門学校	ギラファー	ギラファー
自律型ロボット対戦競技 ハードウェア部門			
優勝	浜松情報専門学校	浜竜・改	ひんりゅう・かい
準優勝	日本工学院八王子専門学校	機皇帝ボンコツ∞	きこうていボンコツインフィニティ
第3位	日本工学院八王子専門学校	マッサン	マッサン
第3位	浜松情報専門学校	こっこ	こっこ
有線型ロボット対戦競技			
優勝	浜松情報専門学校	黒はんぺんGOGO!	くろはんぺんゴーゴー!
準優勝	浜松情報専門学校	浜虎	はまこ
第3位	大阪工業技術専門学校	OCT3	オーシーティースリー
第3位	大阪工業技術専門学校	OCT1	オーシーティーンワン
二足歩行ロボット競技			
優勝	日本工学院八王子専門学校	焔	ほむら
準優勝	日本工学院八王子専門学校	滴	しずく
第3位	名古屋工学院専門学校	A	オングストローム
第3位	東京電子専門学校	TMG331	たまごさんさんいち
優 秀 賞			
優秀 ソフトウェア賞	盛岡情報ビジネス専門学校	ROBOKEY-H	ロボキーハイパー
優秀 ハードウェア賞	鹿児島キャリアデザイン専門学校	KCDII	ケイシーディーツー
優秀 メカニック賞	名古屋工学院専門学校	ろぼぐる	ろぼぐる
優秀 ヒューマノイド賞	日本電子専門学校	オリバー	オリバー
MONO賞	大阪工業技術専門学校	OCT1	オーシーティーンワン
ロボコム賞	名古屋工学院専門学校		
団体優勝	日本工学院八王子専門学校		

②【第11回ビジネスプロデュースコンペティション】

<日程>平成26年12月17日(水) 一次審査

平成27年 1月23日(金) 本選

<会場>日本電子専門学校 メディアホール

<応募状況>18校60プラン

■参加校・参加プラン数一覧(18校 60プラン)

NO	学校名	応募数	一次審査合格プラン数
1	沼津情報・ビジネス専門学校	1	0
2	東北電子専門学校	7	2
3	中央工学校	6	1
4	早稲田文理専門学校	3	2
5	専門学校 松江総合ビジネスカレッジ	2	1
6	大阪ハイテクノロジー専門学校	4	0
7	中国デザイン専門学校	4	1
8	日本工学院専門学校	4	0
9	新潟ビジネス専門学校	1	0
10	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校	2	1
11	日本電子専門学校	5	1
12	麻生情報ビジネス専門学校	2	1
13	宮崎マルチメディア専門学校	1	0
14	日本工学院八王子専門学校	5	1
15	新潟高度情報専門学校	3	1
16	専門学校 静岡電子情報カレッジ	2	0
17	福岡大村美容ファッション専門学校	2	0
18	名古屋工学院専門学校	6	0
	合計	60	12

■協賛企業 2社

株式会社共立メンテナンス

有限会社ザ・ライスマウンド

■第11回ビジネスプロデュースコンペティション 結果一覧

順位	学校名	ビジネスプラン名
グランプリ 経済産業政策局長賞	大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校	街のARシティ化事業 (株)ネオ・プリズム
準グランプリ	新潟高度情報 専門学校	着物に洋服のエッセンスを加えたりして 今までの着物の概念を覆すような Kimono
アイデア賞	日本工学院八王子 専門学校	ソーシャルネットワークコミュニティー アプリ「わい、ひまやねん」 消費税増税によって落ち込んだ消費を取り 戻すために消えた消費を新たに創造する
プレゼン賞	中央工学校	smart phone のアプリで自分の悲鳴を登 録し、GPS により位置を特定し、無線通 信を利用して、セキュリティ会社に通報 する。
審査員奨励賞	中国デザイン 専門学校	今までの常識では考えられない 顧客がデザインをオーダーできる汚し加 工専門のクリーニング

※マーケティング賞は該当なし

■第11回ビジネスプロデュースコンペティション 審査員（4名）

氏名	会社名／役職
小林 茂雄	株式会社シープロド／代表取締役社長
乗浜 誠二	株式会社ベストソリューション／代表取締役
岸田 正寿	PHK2 コンサルティング株式会社／代表取締役社長
加治 晶康	株式会社マップス／取締役管理部長

③【第3回全国専門学校ゲームコンペティション】

<日程>平成26年12月25日(金) 一次審査

平成27年 1月30日(金) 本選

<会場>日本電子専門学校 メディアホール

<応募状況>14校104作品

■参加校・参加プラン数一覧(14校 104作品)

NO	学校名	応募数	一次審査通過プラン数
1	ECCコンピュータ専門学校	2	1
2	沼津情報ビジネス専門学校	2	1
3	静岡産業技術専門学校	2	0
4	大原情報ビジネス専門学校	3	0
5	日本工学院八王子専門学校	2	1
6	日本工学院専門学校	32	6
7	大阪芸術大学付属大阪美術専門学校	2	0
8	トライデントコンピュータ専門学校	13	2
9	専門学校ビーマックス	4	0
10	横浜システム工学院専門学校	3	0
11	吉田学園情報ビジネス専門学校	1	0
12	東京電子専門学校	6	1
13	日本電子専門学校	22	1
14	名古屋工学院専門学校	10	3
	合計	104	16

■第3回ゲームコンペティション 結果一覧

順位	学校名	ゲーム作品名
グランプリ	名古屋工学院専門学校	Eleconnect
準グランプリ	日本工学院専門学校	絶叫魔剣 サケブレイド
審査員特別賞	沼津情報ビジネス専門学校	次の俺はきっと頑張る
審査員特別賞	トライデントコンピュータ専門学校	FLEETING LIGHT

■第3回ゲームコンペティション 審査員(4名)

氏名	会社名/役職
平林 久和	株式会社インターラクト/代表取締役
湯澤 千克	ジョルダン株式会社/メディア事業部 C&E-G マネージャ
菅沼 正夫	グランディング株式会社/ゲームデザインリード
岩田 光平	株式会社アイビー・アーツ/ゲームプログラマー

④【第1回全国専門学校CG作品コンテスト】

＜日程＞参加申込受付 平成27年1月20日（火）～2月20日（金）
 作品提出 平成27年2月 1日（日）～2月20日（金）
 審査期間 平成27年2月21日（土）～3月 6日（金）
 最終審査 平成27年3月10日（火）

＜会場＞CG作品コンテストホームページ上で実施

URL : http://www.jenccwc.jp/2015/contents_works_collection/

＜応募状況＞16校 129作品（うち、動画：59作品、静止画：70作品）

■参加校・作品数一覧（16校 129作品）

NO	学校名	応募数
1	ECCコンピュータ専門学校	20
2	愛知工業大学情報専門学校	6
3	吉田学園情報ビジネス専門学校	2
4	専門学校岡山情報ビジネス学院	1
5	大原情報ビジネス専門学校	7
6	大阪情報コンピュータ専門学校	5
7	中国デザイン専門学校	2
8	東日本デザイン&コンピュータ専門学校	6
9	東北電子専門学校	8
10	日本工学院専門学校	5
11	日本工学院八王子専門学校	7
12	日本電子専門学校	28
13	北海道芸術デザイン専門学校	10
14	名古屋工学院専門学校	5
15	KCS鹿児島情報専門学校	10
16	専門学校デジタルアーツ仙台	7
	合計	129

■第1回全国専門学校CG作品コンテスト 結果一覧

【動画】部門

順位	学校名	CG作品名
グランプリ	日本工学院八王子専門学校	THE BAG
準グランプリ	日本工学院八王子専門学校	velo factory
審査員特別賞	日本工学院専門学校	Batventure
審査員特別賞	日本電子専門学校	Fine
審査員特別賞	日本工学院専門学校	NOISY

【静止画】部門

順位	学校名	CG 作品名
グランプリ	日本電子専門学校	スチームパンクノツカイ
準グランプリ	日本電子専門学校	Jade
審査員特別賞	ECC コンピュータ専門学校	chameleon spy
審査員特別賞	東日本デザイン& コンピュータ専門学校	YAMAHA XV1000
審査員特別賞	ECC コンピュータ専門学校	蛇姫伝

■第1回全国専門学校CG作品コンテスト 審査員（6名）

氏名	会社名／役職
海老澤 広樹	exsa 株式会社／プロデューサー
北村 操佳	株式会社ボーンデジタル
林 丈二	株式会社スパイス／専務取締役 CG 部門代表
望月 智	株式会社ジェットスタジオ／取締役
森江 康太	株式会社トランジスタ・スタジオ／ディレクター
原田 一平	有限会社一平堂／代表取締役

(5) 企画委員会

「インターネット・ベーシック・ユーザー・テスト (iBut)」の開発

【現状】

- ・ 学生向け教材および教員用指導教材の開発を完了
- ・ 検定試験問題4回分の開発を完了
- ・ 模擬試験を、6校約506人の複数分野の学生を対象として実施
- ・ 実施要項素案策定

【課題】

- ・ 実施要項の決定（試験時期（方法）、料金、学校への事務費）
- ・ 検定試験を継続的に行うための組織づくりが必要（作問委員会等の設置）
- ・ 受験者管理や採点等のコンピュータシステムの開発についての検討
- ・ 事務処理体制の整備についての検討
- ・ 教材販売についての詳細検討
- ・ 検定試験普及についての検討が必要

4. 文部科学省委託事業

平成26年度成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業においてIT分野コンソシアムとして「IT分野の産学連携による中核的専門人材養成の戦略的推進プロジェクト」を受託し、事業を推進した。

事業ホームページ <http://26monka-itaku.net/>

5. その他の事業

(1) ホームページを利用した各種情報の提供

本会ホームページを利用した各種PR活動の提供は、研修会や委員会活動報告、会員校イベント情報をはじめ、賛助会員や各種教育関連団体などから寄せられた42件のトピックス（ニュース）を掲載した。

(2) インターネットメールによる各種情報の提供

本会会員校の教職員ならびに、教員研修会等参加者のうち情報配信を希望した方を対象に42件のメールニュースを発行した。掲載内容は、本会が行う研修会の募集情報などのほか、会員校、賛助会員から寄せられたイベントやキャンペーン情報等の配信を行った。

第1号議案 平成26年度収支決算の承認を求める件

平成26年度 収支計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:円)

勘定科目	26年度予算額	26年度決算額	増減
(収入の部)			
会費収入	(10,000,000)	(8,600,000)	(1,400,000)
年度会費収入	8,400,000	7,700,000	700,000
新規入会金収入	200,000	0	200,000
賛助会費収入	1,400,000	900,000	500,000
研修会参加費等収入	(400,000)	(1,900,000)	(△ 1,500,000)
研修会参加費等収入	400,000	1,900,000	△ 1,500,000
イベント開催協力金	(5,120,000)	(5,365,000)	(△ 245,000)
ロボット競技会開催費収入	4,500,000	4,620,000	△ 120,000
ビジネスプロフェッショナルコンペ開催費収入	420,000	380,000	40,000
CG・ゲームコンペ開催費	200,000	365,000	△ 165,000
文科省委託事業収入	(15,000,000)	(15,409,973)	(△ 409,973)
文科省委託事業収入	15,000,000	15,409,973	△ 409,973
雑収入	(20,000)	(2,564)	(17,436)
雑収入	20,000	2,564	17,436
当期収入合計(A)	(30,540,000)	(31,277,537)	(△ 737,537)
前期繰越収支差額	(18,426,539)	(18,426,539)	(0)
収入合計(B)	(48,966,539)	(49,704,076)	(△ 737,537)
(支出の部)			
会議費	(1,900,000)	(1,126,393)	(773,607)
総会運営費	300,000	184,256	115,744
役員会運営費	600,000	341,907	258,093
委員会等運営費	800,000	400,230	399,770
部会費	200,000	200,000	0
事業費	(900,000)	(1,808,448)	(△ 908,448)
研修会等事業費	300,000	1,595,848	△ 1,295,848
調査研究費	100,000	16,400	83,600
広報活動費	200,000	88,200	111,800
会員加入促進費	300,000	108,000	192,000
イベント開催費	(5,120,000)	(5,176,765)	(△ 56,765)
ロボットコンテスト開催費	4,500,000	4,558,832	△ 58,832
ビジネスプロフェッショナルコンペ開催費	420,000	297,436	122,564
CG・ゲームコンペ開催費	200,000	320,497	△ 120,497
事務委託費	(9,000,000)	(9,000,000)	(0)
事務委託費	9,000,000	9,000,000	0
管理費	(70,000)	(70,000)	(0)
租税公課	70,000	70,000	0
文科省委託事業支出	(13,500,000)	(14,009,067)	(△ 509,067)
文科省委託事業支出	13,500,000	14,009,067	△ 509,067
雑費	(30,000)	(55,593)	(△ 25,593)
雑費	30,000	55,593	△ 25,593
予備費	(20,000)	(0)	(20,000)
予備費	20,000	0	20,000
当期支出合計(C)	30,540,000	31,246,266	△ 706,266
当期収支差額(A)-(C)	0	31,271	△ 31,271
次期繰越収支差額(B)-(C)	18,426,539	18,457,810	△ 31,271

第23回 全国専門学校ロボット競技会会計報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日)

(単位:円)

収入の部

勘定科目	予算額	決算額	差異	備考
競技会参加費	600,000	570,000	30,000	
協賛金	1,500,000	1,950,000	△ 450,000	
開催協力金	2,400,000	2,100,000	300,000	
収入合計	4,500,000	4,620,000	△ 120,000	

支出の部

勘定科目	予算額	決算額	差異	備考
会場等設営費	1,500,000	1,512,000	△ 12,000	
大会運営費	850,000	987,218	△ 137,218	
印刷費	180,000	226,800	△ 46,800	
通信費	80,000	101,604	△ 21,604	
商品費	160,000	152,280	7,720	
大会記録費	20,000	0	20,000	
会議費	150,000	3,930	146,070	
人件費	300,000	279,000	21,000	
事務局運営費	1,260,000	1,296,000	△ 36,000	
支出合計	4,500,000	4,558,832	△ 58,832	
情報会計繰越金	0	61,168	△ 61,168	

平成26年度 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	26年度	25年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	2,858,137	2,170,593	687,544
未収入金	15,767,973	18,270,498	△ 2,502,525
2. 固定資産	0	0	0
3. 繰延資産	0	0	0
資産の部合計	18,626,110	20,441,091	△ 1,814,981
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	168,300	14,552	153,748
短期借入金	0	2,000,000	△ 2,000,000
2. 固定負債	0	0	0
負債の部合計	168,300	2,014,552	△ 1,846,252
III 正味財産の部			
1. 正味財産	18,457,810	18,426,539	31,271
正味財産合計	18,457,810	18,426,539	31,271
負債及び正味財産合計	18,626,110	20,441,091	△ 1,814,981

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収入金、未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期期末残高	当期期末残高
現 金 預 金	2,170,593	2,858,137
未 収 入 金	18,270,498	15,767,973
合 計	20,441,091	18,626,110
未 払 金	14,552	168,300
短 期 借 入 金	2,000,000	0
合 計	2,014,552	168,300
次期繰越収支差額	18,426,539	18,457,810

平成26年度 財産目録

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
流動資産		
1. 現金預金		
現金 現金手許有高	722,593	
普通預金 三菱東京UFJ銀行:東中野支店(0111561)	1,290,398	
普通預金 三菱東京UFJ銀行:東中野支店(0176831)	413,281	
普通預金 北洋銀行:光星支店(1515589)	431,865	
2. 未収入金	15,767,973	
資 産 合 計		18,626,110
II 負債の部		
流動負債		
1. 未 払 金	168,300	
負 債 合 計		168,300
正 味 財 産		18,457,810

監 査 報 告 書

一般社団法人全国専門学校情報教育協会
理事長 吉 田 松 雄 殿

私たちは、一般社団法人全国専門学校情報教育協会の平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）における収支計算書、財産目録、諸証票書類ならびに同事業年度の理事の業務状況について監査を実施した。

その結果、財務諸表等は協会の収支及び財産の状況を適正に表示しているものと認めた。

また、理事の業務執行状況も適正であると認めた。

平成 2 7 年 5 月 2 7 日

監 事 菅 原 一 博 ⑩

監 事 菊 田 薫 ⑩

第2号議案 任期満了による役員選任の件

本会定款第24条第1項に基づき任期満了による本会役員の変更を行う。なお、改選は、定款第21条の定めにより行うこととする。

◆報告事項◆

<平成27年度 事業計画>

1. 総会

平成27年度第5回定時総会を平成27年6月11日（木）16時15分から、東京・TKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて開催する。議案は以下の通り。

第1号議案 平成26年度収支決算の承認を求める件

第2号議案 任期満了による役員改選の件

2. 理事会

本会の執行機関であり、業務執行の決定・監督のため3回程度開催する。

3. 常任理事会

常任理事会は、正副理事長、専務理事、委員会を担当する理事で組織し、事業の進捗等の連絡・調整を密に図るために3回程度実施する。

4. 委員会

(1) 総務・財務委員会

- ①会員の管理に関する事項を担当し、増強を検討する。
- ②総会・理事会等の諸会議の運営。
- ③法人を円滑に管理・運営するために未だ整備されていない諸規定について整備する。
- ④本会の財務状況を把握し、適切な予算立案・予算執行について検討する。
- ⑤その他、法人運営に必要な事項について検討する。

(2) 調査研究事業（調査委員会）

- ①IT業界およびコンテンツ業界で必要としている人材を明確にし、その中から、専門学校が教育すべき人材像を特定し会員にその情報を提供する。
- ②IT業界やコンテンツ業界のみならず、当協会の目的に合致する新しい業界の動向を調査し、会員に情報を提供する。
- ③会員校の実勢調査を行う。
- ④その他、本会が必要とする調査を行う。

※別添資料 調査1参照

(3) 研修委員会

①IT教育を担当する教員として、一定レベルの教育の質を担保するための教員研修体系を構築・整備し、これに基づく研修を実施する。

※職業実践専門課程を担当する教員の研修体系を構築する。なお、本事業については、文部科学省委託事業として中核人材育成事業から事業計画を提出する。

②上記①の研修修了者に対し、本会として教員認定を行うことを検討する。

③会員の研修ニーズをもとに研修を設計し、会員に提供する。

④「専修学校フォーラム2016」を開催し、今後のIT教育の方向性を示唆すると共に文部科学省委託事業の発表の場を提供する。

※別添資料 研修2、研修3-1、3-2、研修4-1、4-2、4-3、4-4参照

(4) イベント委員会

①第24回全国専門学校ロボット競技会を開催する。また、今後の大会運営方針等について検討する。(ロボットワーキング)

②第12回ビジネスプロデュースコンペティションを開催する。(BPCワーキング)

③第4回全国専門学校ゲームコンペティションを開催する。(ゲーム・CGワーキング)

④第2回CG作品コンテストを開催する。(ゲーム・CGワーキング)

⑤会員が必要としているイベント等の調査を行い、新たなイベントの必要性等について取りまとめ理事長に答申する。

※別添資料 イベント2、3、4、5参照

(5) 企画委員会

会員の会費負担の軽減および協会活動を活発化させるためには、経営基盤の強化を図る必要がある。本委員会では、新たな収入源となる新規収益事業について継続的に事業化を検討する。

① インターネット・ベーシック・ユーザー・試験(iBut)の実施体制を整備する。

② iBut向け教材販売事業について検討する。

③ インターネット上で展開する収益事業について検討する。

④ その他目的を達成するために必要な事業について検討する。

5. 文部科学省委託事業

平成27年度成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業において本協会からIT分野の職域プロジェクトを申請中。

(1) ビッグデータに対応した中核的IT技術者養成プロジェクト

(2) 産業界の求める企画力・提案力・価値創造力のあるIT技術者養成の地域版学び直し教育カリキュラム開発と実践

<平成27年度 収支予算>

平成27年度 収支予算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:円)

勘定科目	27年度予算額	26年度予算額	増減
(収入の部)			
会費収入	(9,100,000)	(10,000,000)	(△ 900,000)
年度会費収入	7,900,000	8,400,000	△ 500,000
新規入会金収入	200,000	200,000	0
賛助会費収入	1,000,000	1,400,000	△ 400,000
研修会参加費等収入	(1,000,000)	(400,000)	(600,000)
研修会参加費等収入	1,000,000	400,000	600,000
イベント開催協力金	(5,400,000)	(5,120,000)	(280,000)
ロボット競技会開催費収入	4,700,000	4,500,000	200,000
ビジネスプロデュースコンパ開催費収入	350,000	420,000	△ 70,000
ゲームコンペ開催費	250,000	200,000	50,000
C G コンペ開催費	100,000	0	100,000
文部科学省委託事業収入	(13,200,000)	(15,000,000)	(△ 1,800,000)
文部科学省委託事業収入	12,000,000	15,000,000	△ 3,000,000
文部科学省委託事業管理費収入	1,200,000	0	1,200,000
雑収入	(20,000)	(20,000)	(0)
雑収入	20,000	20,000	0
当期収入合計(A)	(28,720,000)	(30,540,000)	(△ 1,820,000)
前期繰越収支差額	(18,626,539)	(18,626,539)	(0)
収入合計(B)	(47,346,539)	(49,166,539)	(△ 1,820,000)
(支出の部)			0
会議費	(1,550,000)	(1,900,000)	(△ 350,000)
総会運営費	250,000	300,000	△ 50,000
役員会運営費	500,000	600,000	△ 100,000
委員会等運営費	600,000	800,000	△ 200,000
部会費	200,000	200,000	0
事業費	(1,150,000)	(900,000)	(250,000)
研修会等事業費	800,000	300,000	500,000
調査研究費	100,000	100,000	0
広報活動費	100,000	200,000	△ 100,000
会員加入促進費	150,000	300,000	△ 150,000
イベント開催費	(4,900,000)	(5,120,000)	(△ 220,000)
ロボットコンテスト開催費	4,300,000	4,500,000	△ 200,000
ビジネスプロデュースコンパ開催費	350,000	420,000	△ 70,000
ゲームコンペ開催費	150,000	200,000	△ 50,000
C G コンペ開催費	100,000	0	100,000
事務委託費	(9,000,000)	(9,000,000)	(0)
事務委託費	9,000,000	9,000,000	0
管理費	(70,000)	(70,000)	(0)
租税公課	70,000	70,000	0
文部科学省委託事業支出	(12,000,000)	(13,500,000)	(△ 1,500,000)
文部科学省委託事業支出	12,000,000	13,500,000	△ 1,500,000
雑費	(30,000)	(30,000)	(0)
雑費	30,000	30,000	0
予備費	(20,000)	(20,000)	(0)
予備費	20,000	20,000	0
当期支出合計(C)	28,720,000	30,540,000	△ 1,820,000
当期収支差額(A)-(C)	0	0	0